

タイトル

・電光標示板による熱中症の注意喚起について

(説明)

◆5月からWBGT温度が表示される電光標示板を設置し、夏に向かってどのように変化していくか作業員にわかるようにした。

その結果、数値と自分の感覚のズレがわかり、熱中症に対しての意識を常に持つようになった。

(添付図)

電光標示板のWBGT温度確認状況



WBGT温度についての掲示物



ランク	WBGT(°C)	対応
運動は原則中止	31度以上	WBGT温度が31度以上では、皮膚温より気温の方が高くなる。特別の場合以外は運動は中止する。
嚴重警戒	28～31	熱中症の危険が高いので激しい運動や持久走など熱負荷の大きい運動は避ける。運動する場合には積極的に休息をとり水分補給を行う。
警戒	25～28	熱中症の危険が増すので、積極的に休息をとり、水分を補給する。激しい運動では、30分おきくらいに休息をとる。
注意	21～25	熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。熱中症の兆候に注意するとともに運動の合間に積極的に水を飲むようにする。
ほぼ安全	21未満	通常は熱中症の危険性は小さいが、適量水分の補給が必要である。